

安全運転管理NEWS

高速道路の運転は高速性という特性に加え、冬期の気象条件が影響しますので、他の季節とは異なり雪氷による影響があるため、運転には一層の注意を払う必要があります。次の事項に注意して、冬期の高速道路を安全に走行してください。

- ◎ 冬期(特に雪氷期)の高速道路の特性を理解する。
 - ・ 橋の上は、積雪、凍結が早い。
 - ・ 日影、山陰には、雪や凍結が残っている場合が多い。
 - ・ 霧の発生が多く、急に視界が悪くなることもある。
 - ・ 突風が吹くことが多い。などの特性があります。この特性を知らないと運転に大きな支障を及ぼしてしまいます。

- ◎ 目的地の気象情報を確認する。

出発地は晴れていても、長距離を運転していると、急に雪模様となり降雪に見舞われることがあります。遠方へ赴く際には、事前に行先地や経路の気象情報、交通規制等について確認するとともに、万一に備えて迂回路を調べておくようにしましょう。

- ◎ 運行前点検の励行と携行品の確認。

中央自動車道は、山間部を貫いている山岳ハイウェイのため、特に、雪と凍結に悩まされます。これまで冬期(特に雪氷期)の高速道路の特性等について触れましたが、ここからは走行中の運転の心構えについて、整理します。

 - ・ 情報板に注意すること。

「冬用タイヤ規制」が表示された場合、スタッドレスタイヤまたはタイヤチェーンなどの滑り止め装置を装着しないと走行できません。加えて、「速度規制」や「低速車作業中」の表示にも注意する必要があります。

また、大雪特別警報が発令されたときには、「チェーン規制」が行われる場合があります。スタッドレスタイヤなどの冬用タイヤでもタイヤチェーンを装着しなければ走行できませんので、注意してください。この際、路肩でタイヤチェーンを装着することは危険です。サービスエリア、パーキングエリアまたは指定された場所でチェーンを装着するようにしてください。
 - ・ 運転時の注意事項。

運転中は、急ハンドル、急ブレーキ、急加速は事故の原因となりますので絶対にしてはいけません。また、路肩の残雪が日中に溶けて夜間に凍結する場合がありますので夜間の運転では特に注意する必要があります。

次に、速度を控えて車間距離を十分にとった運転をすることです。冬期(特に雪氷期)の高速道路での交通事故の多くは、車間距離を十分にとっていなかったことによる追突事故です。凍結路面では乾燥路面の10分の1位しか摩擦力が得られません。車間距離を十分にとって速度を控えて走行しないと前車の動きに対応できません。

以上、基本を励行して高速道路を安全に利用してください。

- ※ 冬用タイヤ装着時等の注意点
冬用タイヤに交換する際には、空気圧、タイヤのひび割れ、残り溝の確認とともに、ナットの締め付けに注意してください。また、交換後は日々の点検の際にナットに緩みが無いことを確認しましょう。

- ※ タイヤチェーン装着の練習をしておきましょう。
タイヤチェーンを携行していても装着することができなければ意味がありません。寒い屋外での装着作業は思ったより大変な作業です。「チェーンの表と裏」や「装着するタイヤ」を間違えるなどもあり得ます。装着方法を練習しておくことをお勧めします。